

11月25日

テーマ：「アクラとプリスキラ」

聖書箇所：使徒の働き18章1～4節、24～27節

◆今日のみことば

彼は会堂で大胆に語り始めた。それを聞いていたアクラとプリスキラは、彼を招き入れて、神の道をもっと正確に彼に説明した。使徒の働き18章26節

◆メッセージ

新約聖書には有名な人がたくさん出てきますが、今日は有名なクリスチャン夫婦を紹介しします。それは使徒の働きの中に出てくるアクラさん（夫）とプリスキラさん（妻）です。アクラさんとプリスキラさんは、あのパウロさんとコリントの町で出会いました。パウロさんとは職業も同じ。パウロさんを自分たちの家に住ませ、一緒に天幕作りのお仕事をしました。お友達でした。



アクラさんとプリスキラさんは聖書のこと神さまのことをよく学んでいたの、伝道もしましたし、若いクリスチャンに教えることもしました。その中の一人・アポロさんはアクラさんとプリスキラさんの家に招かれて、聖書を正しく教えてもらいました。しばらくしてアポロさんは、素晴らしい伝道者になります。それはアクラさんとプリスキラさんのおかげでもあったでしょう。その後も、アクラさんとプリスキラさんはクリスチャンたちを家に招いて家庭集会をしたり、いろいろな所を巡って伝道するパウロさんやアポロさんのために、祈ったり手紙を書いたりしてずっと応援していきました。

2000年前、イスラエルから始まったイエスさまの福音を宣べ伝える働きが、今、日本に



る私たちに届けられているのは、とてもたくさんのクリスチャンが血や汗や涙を流し熱心に伝道をしてくれたおかげです。その中にアクラさんとプリスキラさんの夫婦もいたのです。感謝ですね。私たちもアクラさんとプリスキラさんのように教会に仕え、伝道者を支えて、2000年続く神さまの教えを、後の時代の人にバトンリレーをしていきましょう。

◆お祈り

「私たちもアクラとプリスキラさんのような良い働きができますように。」

(武庫之荘めぐみ教会伝道師 松田悦子)